

平成 27 年 11 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社システム情報  
代表者名 代表取締役社長 鈴木 隆司  
(コード：3677 東証 J A S D A Q)  
問合せ先 経営管理部長 生井 秀人  
(TEL. 03-5547-5705)

### CMMI®レベル 5 再達成に関するお知らせ

当社は、この度、CMMI institute (本部：米国ピッツバーグ) の、CMMI® (ソフトウェア開発組織の能力成熟度モデル) の最高位であるレベル 5 を再度達成いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

当社は、全社 (管理・営業部門を除く) において、ソフトウェア開発組織の能力成熟度モデルである CMMI® (Capability Maturity Model Integration) (\*1) の最高位である成熟度レベル 5 を再度達成いたしました。日本では現在、成熟度レベル 5 を達成している会社は、5 社であり、全社での達成は 2 社となります。

#### ・CMMI®成熟度レベル 5 達成会社

株式会社システム情報、株式会社 NTT データ、株式会社野村総合研究所、  
住友電気情報システム株式会社、株式会社ジャステック

(注) 出典：CMMI Institute 「Published Appraisal Results」より

#### 【内容】

評定日 : 2015 年 11 月 6 日  
モデル : CMMI for Development, Version 1.3 (段階表現)  
評定手法 : SCAMPI, Version 1.3 (\*2)  
評定範囲 : 全ソフトウェア開発部門および品質管理部門 (管理部門、営業部門を除く全部門)



#### 【今後へ向けて】

当社は、2003年よりCMMI®に基づくプロセス改善・組織能力向上に全社で継続的に取り組んでおり、2006年9月にCMMI®レベル3、2010年9月にレベル4を達成し、2012年11月に最高位であるレベル5を達成いたしました。この度再度、成熟度レベル5を達成いたしました。

これらの取り組みの成果は、当社の開発標準であるSICP(SI&C system Integration Control Process)(\*3)に全て取り込んでまいりました。当社では、全プロジェクトがSICPを遵守しており、また経営陣を含めたレビューの実施が徹底されております。更にSICP講習を徹底して実施することにより全社員に確実に展開しております。

その結果、仕事の見える化・標準化が促進されると共に、会社としてのプロジェクト支援体制が確立されております。

今後も、より高度な改善を継続しプロセスを最適化することで、サービスの品質を更に高め、お客様によりご満足いただけるように努めてまいります。

#### 【今後の見通し】

現段階では業績に与える影響は軽微と考えますが、今回の再達成により、さらなる顧客基盤の拡大及び不採算プロジェクト発生リスクの低減が見込まれることから、今後の売上の拡大及び利益率の向上に繋がる可能性が高いと判断しております。

#### (\*1) CMMI® (Capability Maturity Model Integration)

米国カーネギーメロン大学(CMU)のソフトウェア工学研究所(SEI)が開発したソフトウェア開発プロセスの能力成熟度モデルです。組織のプロセス能力(成熟度)を5段階で評価し継続的な改善を促す、体系的なプロセス改善のためのモデルです。現在ではソフトウェア開発能力を測る国際標準的な指標となっております。

#### (\*2) SCAMPI (Standard CMMI Appraisal Method for Process Improvement)

CMMI®に照らして組織のプロセスを評定する際の条件や手順を定義したものであります。レベル評価は、SEIに認定されたリードアプレイザーにより、SCAMPIに厳格に沿って実施されております。

#### (\*3) SICP (SI&C system Integration Control Process)

国際資格/標準であるCMMI®、PMP®(\*4)をベースに、35年に及ぶ当社の開発ノウハウを注入して策定した当社独自の開発標準であります。

#### (\*4) PMP® (Project Management Professional)

米国PMI(Project Management Institute)が認定するプロジェクトマネジメントに関する資格であります。PMIが発行する知識体系ガイド(PMBOK® = A Guide to Project Management Body of Knowledge)に基づくプロジェクトマネジメントエリアに関する知識と理解度を測ることをその目的としております。現時点では、プロジェクトマネジメントに関する国際標準的な資格となっております。

以上